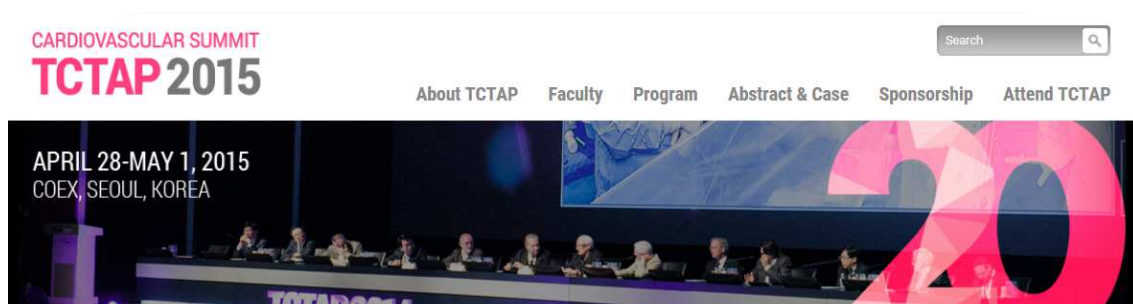


## 第 10 回学会報告記 （第 20 回 TCTAP）

第 20 回 TCTAP が 2015 年 4 月 28 日から 5 月 1 日の韓国のソウルで開催されました。

TCTAP とは Transcatheter Cardopvascular Therapeutics Asia Pacific の略であり、PCI や EVT などをはじめとした循環器領域の血管内カテーテル治療を対象とした学会です。アジアをはじめ全世界から多くの医師やコメディカルが参加していました。

今回は飯田副部長、南都先生、白記先生、私（谷仲）の 4 人での参加となりました。



# 1 学会会場

---

飛行機で関西国際空港からソウル（仁川国際空港）に到着後、バスで2時間程度移動

しました。学会会場はInterContinental Seoul COEX という綺麗なホテルでした。



InterContinental Seoul COEX



学会会場



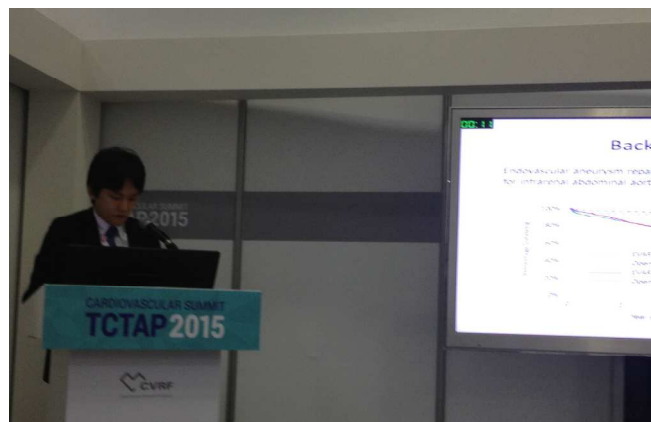
メインアリーナ

## 2 発表

---

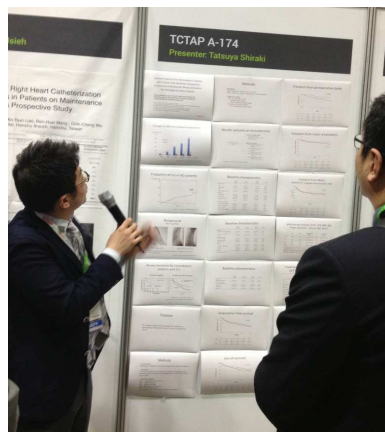
南都 清範先生

【 Successful Endovascular Treatment for type 2 Endoleak after Endovascular Abdominal Aortic Repair: Usefulness of N-butyl Cyanoacrylate 】



白記 達也先生

【 Optimal Treatment for Hemodialysis Patients with Critical Limb Ischemia; Comparison Surgical and Endovascular Revascularization for Infrainguinal Artery Disease 】



私（谷仲厚治）

【 Successful Coil Embolization for Type 2 Endoleak after EVAR 】



上記 3 つの演題を発表して参りました。飯田副部長はランチョンセミナーのコメンテーターなどの roll がありました。いずれの演題も会場参加者、座長から多くの質問を頂き、大変有意義な発表となりました。さらに、南都清範先生及び私（谷仲）の発表が、Best Case Award に選ばれ表彰されました。私は、初めての海外での英語発表であり、大変緊張しましたが、先輩の先生方の御指導のもと、優秀演題に輝くことができ、大変嬉しく感じております。しかしながら、討議の場面では、英語の質問に上手く答えられない場面もありました。今後も、日々のカンファレンス・抄読会で、英語のスキルを磨くべく精進していきたいと思いました。



### 3 日韓交流症例検討会

---

学会開催期間中、日本と韓国の先生方による症例検討会が開催されました。

日本からは 4 演題、韓国からは 3 演題発表されました。いず

れの演題も白熱した議論となり、大変勉強となりました。

当院からは白記先生、南都先生が発表され、見事白記先生が best Award に選ばれました。



## 4 学会後活動

---

韓国といえば、グルメが豊富な国ということで、他施設の先生方と学会後にサムゲタン、サムギョプサルを食べにいきました。とても美味しかったです。また他施設の先生方と臨床や研究などの話をさせていただき、有意義な時間となりました。



## 5 まとめ

---

私自身初めての国際学会であり、とても刺激的な日々を過ごすことができました。

今回の学会参加を通して得たものを糧に、今後の日常診療に励んでいきたいと思います。

今後も、さまざまな学会に積極的に参加し、当院での日々の臨床を検証しつつ、よりよい診療を目指して行きたいと考えております。